

## ■健全化判断比率

区 分	健全化判断比率	早期健全化基準
実質赤字比率	-	15.0%
連結実質赤字比率	-	20.0%
実質公債費比率	12.3%	25.0%
将来負担比率	76.0%	350.0%

健全化判断比率は、数値が大きいほど財政状況が悪化していることを示し、早期健全化基準を上回ると、財政状況は「黄色信号」状態となります。

町の平成20年度決算を基にした健全化判断比率は、いずれも早期健全化基準を下回っています。

### ■実質赤字比率

一般会計の赤字額の大きさを示します。赤字はなかったため「-」としています。

### ■連結実質赤字比率

町全体の赤字額の大きさを示します。一般会計以外の特別会計にも赤字はありませんでした。（「特別会計決算」をご参照ください。）

### ■実質公債費比率

町が負担した借金の返済額の大きさを示します。借金の返済額には、町の借金のほか皆野・長瀬上下水道組合など町が構成員となっている団体の借金に対するものも含まれます。平成19年度は13.9%だったため、1.6ポイント減少しています。

### ■将来負担比率

将来にわたって返すべき借金などの大きさを示します。実質公債費比率と同様に、皆野・長瀬上下水道組合などの借金も含まれます。平成19年度の77.3%から1.3ポイント減少しました。

## ■特別会計決算

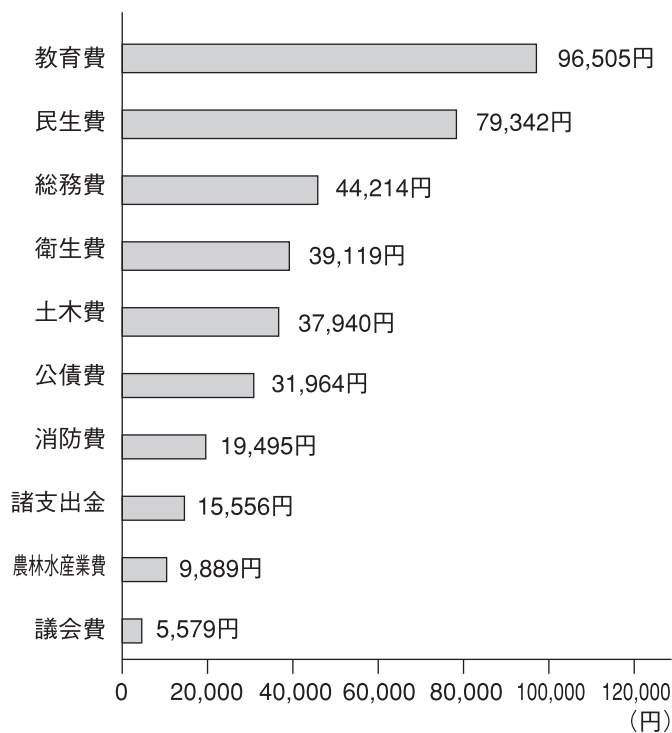
会 計	歳 入	歳 出
国民健康保険	10億5,693万円	10億2,725万円
老人保健	1億3,531万円	1億2,722万円
介護保険	8億2,034万円	7億7,855万円
後期高齢者医療	1億1,301万円	1億1,227万円

老人保健制度が後期高齢者医療制度に移行したことに伴い、新たに後期高齢者医療特別会計が設けられました。これに伴い、老人保健特別会計は精算を行うだけになったため、歳入・歳出とも大幅に縮小しました。

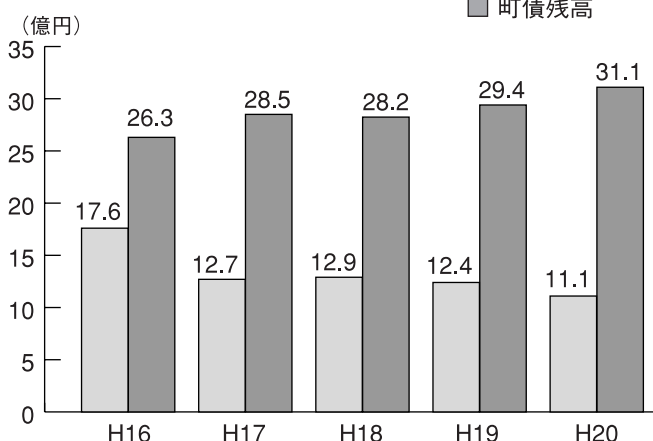
## 一般会計決算額

歳入総額 46億 530万円  
 歳出総額 43億4,448万円  
 差し引き 2億6,082万円

## ■町民1人当たりに使われたお金



## ■基金と町債残高



### 基金と町債残高

基金は町の貯金、町債は町の借金に相当します。平成16年度以降、皆野小学校、皆野中学校と大規模な建設工事に基金を使ったため減少傾向にあります。

町債残高は、これらの建設事業と地方交付税の代わりに借り入れる町債などにより、増加傾向となっています。